まつうら 市議会だより

第78号
令和８年11月１日
編集・発行
市議会だより編集委員会
電話（0956）72-0264

令和８年度一般会計補正予算 ８億4033万3千円 を可決

「商工費の公有財産購入費」は附帯決議をして文教厚生産業委員会で可決されました。※附帯決議については、９ページをご覧ください。

９月定例会

大崎下地区　薬師様奉納相撲（9月23日）

まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

令和8年 9月定例会

令和8年9月定例会を、9月4日㈮から9月17日㈭までの14日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市印鑑条例の一部改正などの条例7件、令和8年度各会計補正予算7件、その他の議案5件、認定3件、請願2件の計24件が上程され、継続審査となった請願1件を除く23件について、いずれも原案のとおり可決、認定、採択しました。

最終日には、一般会計補正予算、諮問2件、議員提出案件1件が追加上程され、いずれも原案のとおり可決、了承しました。

また、令和7年度の一般会計および各特別会計決算認定11件が追加上程され、閉会中の継続審査としました。

（※議案等の審議結果については、13ページから掲載）

会期日程

9月

4日㈮ **本会議**
- ▽会期の決定
- ▽会議録署名議員の指名
- ▽議長の報告
- ▽議会運営委員会の先進地調査報告
- ▽特別委員会の中間報告
- ▽市長の市政概況報告
- ▽市長提出案件の上程・説明・質疑・主管委員会付託
- ▽市長提出の諸事項報告
- ▽請願の受理報告・主管委員会付託

5日㈯・6日㈰ **休会**

7日㈪・8日㈫ **本会議**
- ▽一般質問

9日㈬ **本会議**
- ▽一般質問
- ▽市長提出案件の追加上程・説明・質疑・主管委員会付託

10日㈭・11日㈮ **委員会**

12日㈯・13日㈰ **休会**

14日㈪ **委員会**

15日㈫・16日㈬ **休会**

17日㈭ **本会議**
- ▽主管委員会付託案件の審査報告・採決
- ▽市長提出案件の追加上程・説明・審議
- ▽特別委員会の設置・付託
- ▽議員提出案件の上程・説明・審議

一般質問

一般質問は、市政全般にわたり議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内（答弁と関連質問を含む）としています。

今定例会では、9月7～9日の3日間で12人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。（登壇順）

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- ○市役所議会事務局
- ○市役所各支所・出張所
- ○市立図書館
- ○市立公民館

会議録はこちらからもご覧になれます。（9月定例会の会議録は12月定例会会前に公開予定）

議会はインターネット中継でもご覧いただけます。

次の定例市議会は **12月** です。

松浦市公式ホームページで生放送します。パソコン、スマートフォンなどで視聴が可能です。

また、ホームページでは録画映像の視聴もできます。

松浦市公式ホームページアドレス
https://www.city-matsuura.jp/

録画映像はこちらからもご覧になれます。

お問い合わせは
議会事務局へどうぞ
TEL（0956）72－1111

一般質問

岩本 議員

○災害時の避難所になる小・中学校の体育館へのエアコン設置について

質 災害列島と呼ばれる日本、今年の夏はとりわけ深刻です。災害はいつ起こるかわかりません。地方自治体は住民の福祉と命を守ることが最優先の使命であると思いますし、私自身も人命は最優先に守られるべきと考えています。最大震度7を記録した熊本地震、その被害からの復興もままならない中、各地で起きた豪雨災害、温暖化で命に関わるような酷暑も全国的に広がっています。避難所となる志佐中学校体育館へのエアコン設置について見解を伺います。

市長 学校の屋内運動場（体育館）については、児童生徒の学習の場、学校生活の場だけでなく、災害時の避難所に指定されることから、安全性と快適性を備えた環境整備を図る必要があると認識しています。空調の整備には、既存の補助制度を最大限に活用しながら整備を進める必要がある一方で、多額の費用がかかるため、基礎自治体の努力のみでは対応が困難であり、補助対象の拡充や補助率の引上げなど、より実効性の高い支援制度の構築を国に強く要望したいと考えています。また、今回の熊本地震のような災害が起きた場合には、志佐中学校の体育館が仮に使用できなくても、現状で使用できる空調設備が整備された施設を有効に活用し、適宜対応してくことは当然だと考えています。例えば、文化会館ふれあいホールは空調が整備されているため、万一の場合はそこを活用したいと考えています。

質 熊本地震や千葉豪雨などの災害を教訓に、空調設備整備臨時特例交付金を活用し、指定緊急避難所の小中学校体育館で、まず、高台にある志佐中学校体育館へのエアコン設置を検討できないか伺います。

市長 現時点において、補助制度の拡充等を国にしっかり訴えていくことが重要だと考えています。現在整備を進めている志佐小学校の体育館は低地で浸水想定区域であるため、大雨の際の避難所としては適切ではないと考えますが、空調設備の整備を検討しています。万一の場合は、避難所として、学校の一般教室等を活用しながら対応を考えており、今後は順次、学校体育館への整備を進めたいと考えています。

　このほか、「ＪＣＨＯ松浦中央病院の現状及び医師の確保について」を質問しました。

一般質問

川下 議員

○松浦市小・中学校適正配置基本計画住民説明会での意見を踏まえた市の今後の対応について

質 住民説明会では、住民の方から「説明会は今回で終わりではないか」との確認があり、市は「随時開催する」と回答されていました。説明会以後のスケジュールも含めて、今後どのようなタイミングで継続的な説明会を開催していくのか、また住民の声の反映と今後のプロセスについての考えを伺います。

学校教育課長 今回の説明会では概要を説明しました。今後は、小学校の行事に合わせて小学生の保護者対象の説明会と意見交換会を行います。行事に合わせられない小学校については、地域の施設で同様の説明会を行います。

　その後、パブリックコメントを行います。その間も合意形成が図られるよう、説明会の開催が必要と考える地域や要望がある地域には出向いて説明や意見交換を行います。

　パブリックコメントを受けて、市民からの意見を考慮し、教育委員会の承認を得て、松浦市小・中学校適正配置基本計画を策定します。

　その後、策定した内容について、小学校区に出向いて説明を行います。

質 住民説明会では、「本土部４校を一気に統合するのではなく、御厨地域と志佐地域の中学校２校体制にできないか」との意見がありました。このような市民の声やパブリックコメント等で寄せられた意見によっては、今回の本土部４校統合案を見直す可能性はあるのか伺います。

教育長 本市において児童生徒数が減少する中、これから総合的な整備を図る観点から、望ましい教育環境について検討委員会に諮問し、答申をいただき、その答申を基に、特に、中学校では１学年複数クラスの確保を目標とし、再編を教育委員会で検討し、第２次松浦市小・中学校適正配置基本計画（案）を策定し、住民説明会を行いました。

　現状では、適正な規模とされる中学校における本土部１学年複数クラス確保の目標を見直す考えはありません。また、本土部４校統合を実現しないと児童生徒にとっての望ましい教育環境を達成できないと考え、４校統合についても見直す考えはありません。

一般質問

村尾 議員

○避難所のエアコン整備について

質 県内自治体が、避難所となる小中学校体育館へのエアコン設置を進める動きがある中、市の考えをお尋ねします。

教育総務課長 小中学校の屋内運動場（体育館）への空調設備の整備については、松浦市学校施設長寿命化計画を策定し、長寿命化を図っており、この計画に併せて、避難所としてのインフラ機能の強化についても対応を検討しています。

質 避難所の空調整備について、太陽光発電と蓄電池を組み合わせ、停電時にも稼働できる自立型避難所の整備についてお尋ねします。

防災課長 自立型避難所が整備されることで、停電時でも安心して避難できるため、多くの避難所で整備されることが望ましいと考えますが、地域防災計画で指定する避難所は、主に学校などの公共施設のほか、各地区が所有する自治公民館となっており、自立型避難所の整備については、避難所に指定する施設の管理者との協議が必要となります。

質 小中学校の体育館の大規模改修時に、空調、太陽光発電、蓄電池、非常用電源を一体的に整備する考えがないかお尋ねします。

市長 太陽光発電と蓄電池の併用については、電気代の大幅な削減や停電時の電力確保が大きな利点ですが、初期投資の負担や蓄電池維持管理の課題、また、気候変動に左右される点など、現状の認識では、従来型のキュービクル増設による対応がより的確で信頼性が高いと判断しています。

○松浦市小・中学校適正配置基本計画策定について

質 今後、教職員に計画策定の場に参加させ、意見を聞き、反映させる考えがあるかお尋ねします。

教育長 本計画は教育委員会の責任において策定するもので、教職員には学校業務があるため、計画策定に参加させる考えはありませんが、策定後には教職員の意見を参考にする考えはあります。

質 不登校など学校に適応することが難しい子どもたちへの配慮についてお尋ねします。

学校教育課長 統合前後にはさまざまな課題が出てくると考えますが、生徒や保護者の声を真摯に受け止め、取り組みたいと考えています。

一般質問

神田 議員

○赤潮発生状況と複合養殖に係る新魚種導入実証調査について

質 本年の赤潮の発生状況についてお尋ねします。

水産課長 本年の赤潮による大きな被害は、現時点では確認されていません。

質 複合養殖に係る新魚種導入業務の概要についてお尋ねします。

水産課長 伊万里湾における赤潮対策のため、赤潮発生時期を避けて、短期間で出荷可能なサイズまで成長が見込める魚介類や赤潮の影響を受けにくい新たな魚介類の養殖実証試験・調査を行うことにより、新たな収入源として将来の漁業所得の向上を期待するとともに、安定的な養殖生産に寄与し、市の新たな産品を創出するなど、水産業の振興につなげることを目的としています。

質 赤潮を避けた時期に短期間で市場に出荷できる複合養殖に係る新魚種導入をどのように捉えているのか、見解をお尋ねします。

市長 足し網、浮沈式の生けすや薄飼い、赤潮に耐性のある魚種、発生時期を避けて養殖ができる魚介類など、さまざまな手法の検討・対策が必要だと考えています。

今回の新魚種導入の実証事業は大きな意味を持つと捉え、その結果を踏まえ、今後、導入を進めるべきと判断した場合は、支援も含めて積極的に検討したいと考えており、さまざまな新しい魚種の導入についても、県と連携を取りながら、必要に応じて対応したいと考えています。

○松浦市有財産の有効活用と管理処分について

質 松浦市の公有財産の管理や処分に関して、円滑な運営を図るため、仮称ですが、松浦市公有財産管理委員会の早急な設置を提案しますが、見解をお尋ねします。

市長 現在も未活用である公有財産の売却を実施していますが、公有財産の管理や処分に関して円滑な運営が必要と考えています。

今後は、まず庁内全体で情報を共有するとともに、活用が見込まれないと判断した物件については積極的に売却を進めていきたいと考えています。

また、処分の条件などについては、既に設置しています公有財産の取得、交換、譲渡を協議する松浦市市有財産評価委員会に諮って進めたいと考えています。

一般質問

福本議員

○西部工業団地造成事業の進捗と企業誘致について

質 現在の造成工事の進捗状況と、これまでと今後の事業費について伺います。

産業振興課長 ８月末時点での進捗率は事業費ベースで47・２％、これまでの事業費は約２億５６００万円、今後の事業費は約２億８６００万円です。

質 西部工業団地にはどのような業種、企業を重点的に誘致しようと考えているのか伺います。

産業振興課長 基本的には製造業を中心とした誘致活動を進めていきたいと考えています。一方で、本市も含めた、過疎地域に共通した労働者確保の困難さから、進出を敬遠される実情もありますが、労働者確保につながる支援策を講じ、適正規模の企業をターゲットとするなどの対応も考えています。

質 市長自らトップセールスを行い、企業を呼び込むという強い姿勢が必要だと考えますが、市長の考えを伺います。

市長 県と産業振興財団へは、適宜訪問をし、本市の思い、熱意をお伝えしています。また、西部工業団地以外についても、今後の生成ＡＩの普及や企業のＤＸの加速化によるデータセンターの需要等もあるため、それらの企業誘致ができないか、興味を持って具体的に取り組みを進めていきたいと考えています。

○松浦魚市場における荷揚げ待ちについて

質 松浦魚市場での、漁船の入港から荷揚げ開始までの待ち時間について伺います。

水産課長 通常、水揚げ開始は夜中の午前3時から行われ、正午までには水揚げが終了します。仮に当日の午後に入船した場合は翌日の午前3時までの15時間の待ち時間、また、休市日を挟む場合や水揚げ量が多い日などは翌々日になり、39時間程度の待ち時間になる場合もあります。

質 荷揚げ待ちによる魚の鮮度低下や販売価格の下落、操業機会の減少、漁獲量への影響について伺います。

水産課長 西日本魚市㈱が周辺市場の水揚げ量や価格相場などを細かく調査し、1日に処理できる量を見定め、水揚げ調整を行っている状況です。操業機会の減少、漁獲量への影響については、現在の荷さばき処理や冷凍施設の能力に限界があるため、周辺の市場機能の強化を図り、対応していきたいと考えています。

一般質問

志水議員

○水産業の振興について

質 「松浦の極み」にクロマグロとクルマエビを新たに選定した理由、その目的や期待する効果を伺います。

文化観光課長 令和７年２月の松浦市産品戦略推進会議で委員から産品追加の提言があり、精査を経て、本市の水産業をさらに牽引する2品目を追加しました。目的は、本市が「アジフライの聖地」として高めてきたブランド力を基盤に、本市の圧倒的な強みである高級魚介類の魅力を前面に出す効果的なタイミングと判断したこと、クロマグロが県内の品評会で最優秀賞を受賞し、クルマエビが豊洲市場をはじめ国内外で高い評価を得ていること、さらに、本市のふるさと納税の返礼品として高い人気を誇り、生産者の卓越した技術と情熱で、品質・生産量が既に確立されているためです。期待する効果は、大都市圏の高価格帯市場への販路拡大強化による生産者の所得向上と水産業全体の活性化で、これまでのアジ、サバに加え、クロマグロとクルマエビが加わることで、海の食資源の豊かさを総合的にアピールできる点です。

質 「松浦の極み」に選定され、需要が増えることは良いことだが、生産拡大の取り組みについても考える必要があります。中・長期的な産業の発展のための計画の考えがあるか伺います。

水産課長 消費拡大に伴う生産設備の投資に対する支援は、増産体制が必要となる場合には、個別の支援策の検討を考えています。

○志佐漁港水産種苗生産施設用地の現状と活用について

質 用地内の全天候型遊戯施設は白紙、民間部分の提案は事業を進めるということだが、なぜ1年以上協議されていないのか伺います。

市長 志佐漁港のサウンディング用地については、松浦商工会議所・松浦物産㈱・市での協議を行い、必要性等を議論してきました。さまざまな意見を聞く中で、中心市街地の活性化の必要性などを総合的に判断した結果、優先すべきは市民生活にも直結し、そこににぎわいを創出できる中心市街地の活性化へ軸足を移したところです。一方で、この用地の活用は民間主体で進めることを市が止めているわけではないので、民間の皆さまにそのような思いがあれば実施していただきたいと考えますし、これまでも、必要に応じて打ち合わせ等は担当課が行ってきました。

一般質問

宮田 議員

○農業における自動化・省力化の可能性について

質 全国で２０２０年からの５年間に農業に携わる方の減少が過去最大であったと報告されています。本市での農家数、耕作面積の推移をお尋ねします。

農林課長 ２０２０年および２０２５年の農林業センサスでの推移でお答えします。農業経営体数は２０２０年が８９０経営体、２０２５年が６９９経営体で、１９１の減少で、経営耕地面積は２０２０年が１２８ヘクタール、２０２５年が１０８３ヘクタールで、１６５ヘクタールの減少となっています。

○水産業における自動化・省力化の可能性について

質 以前は人が行っていた作業を機械などで自動化・効率化されたように、水産業にもこれからデジタルによる変革が訪れると考えますが、市内事業者の事例をお尋ねします。

水産課長 市内の水産業での自動化、効率化の取り組みは、鷹島町の水産会社一社が県と市の補助を受け、ＡＩ自動給餌機２機を導入されており、シマアジの養殖に使用されています。このＡＩ自動給餌機は、スマートフォンによる遠隔での給餌の設定や給餌映像の確認、自動給餌コントロールが可能となっています。成果としては、水産会社に尋ねたところ、シマアジは次年度からの出荷予定で、現時点で生産性に関する効果は不明だが、省力化が図られ、非常に便利で、導入してよかったとのことでした。

質 陸上養殖では自動化や省力化のメリットがあると考えられるが、一方で、設備投資やランニングコストは高額な印象があります。陸上養殖の市内での実情やメリット、難しさなどをお尋ねします。

水産課長 把握している市内の陸上養殖の事業者は２事業者で、１事業者はトラフグの養殖で、当初の計画では大型の水槽を58基で年間出荷量84トンとなっています。もう１事業者はウナギとトラフグの養殖で、規模や出荷量の詳細は把握していません。

陸上養殖を事業化する場合の課題として、電気代や燃料代・餌代などの高騰、台風や大雨などによる停電対策、機械の経年劣化による修繕費・更新費の負担、販路の確保などがあると考えています。

一般質問

鈴立 議員

○公道の維持管理について

質 夕日が海へ沈み、養殖イカダがあり、鉄道が通る、調川道路公園から今福までの景観は素晴らしく、他市にはない非常に素晴らしい借景であり、西九州自動車道を通らずに国道を通ると、非常に味があって心が癒され、そして、海のふるさと館や魚市場の食堂に立ち寄ってアジフライを食べることもできるが、公道の維持管理が不十分と考えます。公道整備は市の景観に直結し、素晴らしい景観は移住にも直結し、波及効果が高いと考えるが、考えを伺いたい。

市長 景観は、初めて訪れる方々の第一印象に大きく関わると考えます。初めて訪れた場所の景観が非常によければ、また訪れたいと思い、場合によっては、そこに住みたいと思うことになると考えます。一方で、今福町雇尾地区の周辺では、以前に比べ道路際の雑木の繁茂が著しく、以前見えていた景色が見えなくなっていると感じています。以前は道路の周辺がもう少し伐採等がされていたと考えますが、近年は予算の関係等もあり、道路敷の範囲内にとどめられ、景観を阻害していると考えます。交通量が減少している中、市民の皆さま方と協力して改善できないか常日頃考えています。

○教育環境の現況と第２次松浦市小・中学校適正配置基本計画策定について

質 70年代半ばから子どもの数は年々減少していたにも関わらず国を始め行政は対策を講じることなく現在に至っており、基本計画策定に当たり、５年後10年後には生徒数がこれだけ減少するから、本土部中学校４校を１校に統合しようとする統廃合ありきの市の説明会は間違っていると考えます。市民の英知を参考に、万策尽き果てるまで存続への努力を重ねた結果、どうにもならない状況になれば、市民の皆さんも理解できると考えるが、考えを伺いたい。

教育長 現在、第２次松浦市小・中学校適正配置基本計画の策定に当たっていますが、本市の児童生徒の数が減少している現状を踏まえ、数年後では遅く、いま検討すべき時期に来ていると判断しました。現状でよりよい教育環境を整えるため、子どもたちにとって、クラス替えができる規模で社会性を身につけたり多様な考え方に触れたりして、切磋琢磨し合えるよりよい教育環境を整えることが教育委員会の最大の責務だと考えており、子どもたちの将来を考え、計画策定に着手しています。

一般質問

紙本議員

○6月定例会での一般質問事項の確認について（県道・市道の改善）

質 県道の通行に支障がある沿道樹木の伐採と歩道の落ち葉等の堆積物の除去作業の実施状況や見通しを伺います。

建設課長 県に確認したところ、通行に支障がある沿道樹木の枝などの伐採は、本年度は福島町浅谷地区の一部の区間で9月中に実施、福島大橋から福島港間の一部の歩道に堆積している落ち葉などの撤去は、本年度中の実施に向けて現在準備を進めていると伺っています。

質 福島町内のツバキの植樹区間の管理状況や今後の維持管理について、観光行事のスケジュールを考慮し、県と市の作業を連携するなど、限られた財政の中で効率的かつ「生きた予算」となる維持管理を行うべきではないかと考えますが見解を伺います。

建設課長 福島町内のツバキの植樹区間は県道であり、県が主体となって管理されています。

現在、発注時期は大体夏前で、受注者で計画され、その中で作業を進められています。市としても作業スケジュールの提案をしたいと考えますが、受注者の都合もあり、スケジュールどおりにはいかないこともありますので、お願いはしていきたいと考えています。

○旧養源小学校校舎等の利用について

質 現状の貸付だけでなく、さらなる有効活用ビジョンについて伺います。

会計課長 鉄筋校舎・木造校舎とも貸付契約を結んでいるため、現状のまま活用する方向性で決定しています。

質 周辺住民の皆さまの安心を守るため、倒木や石垣崩壊のリスクを踏まえた、現場の状況確認について伺います。

福島支所長 旧養源小学校周辺の石垣等の状況は、道路管理上も関連があるため、道路管理者側でもある程度確認をしていますが、今後、危険な状況がないかは随時確認をします。

質 福島町原地区の自主防災組織への支援と、防災活動拠点について伺います。

防災課長 組織への支援は、10万円分までの必要な資機材を組織と調整の上、寄贈します。

自主防災組織で策定された地区防災計画から、組織の防災活動拠点は原地区集落センターであると認識しています。

一般質問

小川議員

○学校施設の維持管理と修繕計画について

質 プールなど長寿命化計画の対象外の学校施設は、どのように不具合を把握し、修繕の優先順位を決定しているのか伺います。

教育総務課長 本市の学校プール施設については、老朽化の状況と維持管理コストを総合的に勘案し、大規模改修が必要な状況となった場合、隣接の学校プールや民間プール施設を活用した水泳授業を検討します。本年度は福島養源小学校で民間プール施設を活用した水泳授業を実施しました。

今後、学校プールの施設整備が必要な状況となった場合、学校に相談した上で、民間施設や近隣学校等のプールの活用について検討を進めていきます。

質 物価や労務費の上昇、起債金利、国庫補助や交付税措置、さらに、先送りによる修繕費や劣化の拡大による財政負担を比較して、早期改修が財政的に有利と判断された場合には、計画年度にとらわれず、大規模改修を前倒しできるか伺います。

総務課長 全国的に人件費や物価が高騰する中、公共施設の整備や改修等に係る事業費が増加するなど、その影響を受けていることは認識しています。改修時期を後年度にすることで物価高騰等による事業費が増加する影響と、借入金利が上昇している中、起債による改修計画を前倒しすることで増加する元金、利子の支払いに係る公債費負担の影響を比較し、節減効果として事業を前倒しする方が有利になることもあると考えます。

しかし、起債事業を集中的に実施することにより、単年度における地方債の新規発行増加額が同一年度の元金償還額を上回ることで地方債残高が増加し、今後の予算編成において公債費に多くの財源が必要となり、市の裁量で使える一般財源が減少し、財政の硬直化を招くことになり、政策的な判断による事業に制約がかかる恐れがあります。

地方債は元利償還を伴うことから、単に起債事業を増やすことをもって物価高騰対策とするのではなく、事業の必要性や優先度、将来の維持管理経費、後年度の公債費負担などを総合的に判断する必要があると考えています。そのようなことから、今後も財政状況を注視しながら、事業の優先度を適切に判断し年度間の事業費を平準化し、計画的な起債事業を実施していきたいと考えています。

一般質問

吉岡 議員

○行政手続きの遅延および確認ミスの現状と今後の対応について

質 市役所職員によるデータの入力漏れと窓口対応で不手際がありましたが、行政のトップとして今後の対応を伺います。

市長 市民サービスの多様化に伴い、よりきめ細やかで分かりやすい説明や、質・量ともにサービス向上が求められており、職員のミス防止や接遇向上に取り組むことは、基本かつ重要であると考えますが、現状はまだまだ不十分な点があります。接遇等の向上を図るには、継続した不断の取り組みが重要であり、今後も研修等を中心に職員の資質向上、接遇力向上に努め、私もしっかりと指導を徹底していきます。

○スポーツ施設・公園施設の整備について

質 市民運動公園の上方エリアにある遊歩道の整備について伺います。

生涯学習課長 上方エリアにはテニスコート4面の整備を予定しており、明確な整備時期はお示しできないが、整備までの間は、以前利用再開したい旨答弁した遊具の整備は見送り、遊歩道の整備を行いたいと考えています。

質 テニスコートの老朽化は顕著で競技に支障をきたしており、早急な対応が必要と考えるが見解を伺います。

生涯学習課長 利用者が安全に使用できるよう点検し、劣化部分等は修繕を適宜行い、コート面は真砂土とグリーンサンドを補充しての整地作業を本年度は専門業者に委託し、10月中に実施予定です。

質 テニスコートの照明使用料については不合理な設定であり見直しが必要と考えるが見解を伺います。

市長 市民運動公園のテニスコートの照明はコート4面に対し6基設置されているため、仮に1コートのみの使用でも2コート分の申請で、中央部分を含め4基の照明を使用しています。使用料の設定については、市民からも同様の指摘があり、より分かりやすい設定にするため、1コートごとの使用料とする規則の改正を考えています。

なお、使用料については、金額が設定された当時に比べ、電気料金など維持管理に要する費用が相当上昇していることを踏まえ、市内の公共施設全般にわたり抜本的な見直しが必要な時期が来ていることから、来年度以降に見直したいと考えています。

一般質問

武辺 議員

○学校図書蔵書管理システムの概要と導入による効果について

質 システム導入の目的についてお尋ねします。

教育長 児童生徒の蔵書検索の利便性を高め、読書意欲を喚起し、主体的な学びを支援するものです。

質 システム導入の効果についてお尋ねします。

教育総務課長 市内小中学校図書のデータベース化が図られ、蔵書検索や貸し出し・返却手続の効率化、児童生徒の主体的な学習活動の促進、教員の授業準備や教材作成のサポート、また、学校間の図書検索が容易になり、学校間の貸し借りも可能になります。

質 市立図書館のシステムとの接続についての考えをお尋ねします。

教育長 将来的には、市立図書館と学校図書館との連携を考えています。

○松浦市小・中学校適正配置基本計画策定にかかる住民・保護者説明会について

質 説明会での説明内容をお尋ねします。

学校教育課長 学校規模の適正化について国が示した方針、本市の中学校における課題、青島・福島・鷹島地域の中学校の今後の計画、令和13年4月をめどに松浦地域の中学校4校の統合を進めることなどを説明しました。

質 説明会でどのような意見が出たかお尋ねします。

学校教育課長 特に多かったのは、令和13年度に中学3年生になる現在小学校4年生の保護者からの意見で、受験の年に生活環境が変わることへの影響を心配するものでした。

質 統合を前提とした場合、現段階で解消しなければならない事例をお尋ねします。

学校教育課長 大きな集団への戸惑いを和らげる策として、統合の数年前から交流授業や合同による学校行事の実施など、段階的に人間関係を構築できる学びの環境の変化への緩和措置に努めます。

通学への不安に関しては、安全な通学手段の確保や事前に実際の通学路を体験するシミュレーションを行うなど、見通しを持たせることで不安を和らげることも考えています。

ほかにもさまざまな課題が出てくると考えますが、一つ一つ真摯に受け止め、対策を講じたいと考えています。

常任委員会の審査概要

総務建設農水委員会

【議案】令和８年度松浦市一般会計補正予算（第３号）（関係分）について

干害応急対策事業費補助金として５００万円が計上されました。

本市では、７月６日の16・５ミリの降雨以降、８月14日に１・５ミリの雨が降るまでの間、雨が全く降っておらず、そのため、干害防止対策を実施した農業者に対し、用水確保にかかる経費の一部を助成するものであるとの説明がありました。

補助の基準については県の基準を準用し、田畑については１日当たりの雨量が５ミリ以下の日が20日以上続いた場合、また30日間の総雨量が１００ミリ以下となった場合に、干害応急対策事業の対象になるとのことでした。事業遂行に必要な予算であり、妥当と認めました。

【議案】令和８年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算（第２号）について

魚市場施設Ｄ棟周辺再整備に伴う土地売払収入および土地購入費、再整備検討委員会に係る委員謝金・費用弁償・旅費や基本計画策定業務委託料および緊急修繕費等に５５６２万３千円が計上されました。

再整備検討委員会のメンバーは、大学の教授等を想定していることや、売買する土地については、魚市場の機能強化を図るため県から購入した土地を冷蔵庫等建設用地として水産業協同組合へ売り払う予定であるとの説明がありました。事業遂行に必要な予算であり、妥当と認めました。

【議案】松浦市本庁舎大規模改修工事（建築主体工事）請負契約の締結について

市内の２業者による特定共同企業体が落札しました。

ＳＲＦ工法の施工実績がないと思われる市内事業者のみでの実施が可能かとの質問に対し、ＳＲＦ工法は専門性の高い施工になるため、施工可能な専門業者が下請けに入ることで、施工内容および品質等は確保できるとの説明があり、妥当と認めました。

【請願】松浦高校に「インターナショナルコース（仮称）」の設置についての請願について

松浦高校の生徒を増やし、魅力を高めて再生・起死回生を図るという請願の趣旨や熱意に対し、委員全員が強い共感を持っている一方で、松浦高校の魅力化については、国際交流や語学教育にとどまらず、スポーツ振興や医療介護・既存学科の充実など、多様なアプローチや関係者の思いが存在しており、本請願は他の取り組みとの間で不必要な亀裂が生じるのではないかとの慎重な意見がありました。

後日、請願者の意見を聞き取り、請願の趣旨および請願事項の確認、本委員会が懸念していることについて意見交換を行いました。請願者の意向はインターナショナルコース（仮称）の設置という具体的な目的を持っての請願であることが確認できましたが、当委員会としては、更に検討を要するために継続審査としました。

文教厚生産業委員会

【議案】令和８年度松浦市一般会計補正予算（第３号）（関係分）について

志佐中学校の法面高木伐採作業手数料として２８６万円が計上されました。これは昨年度着手したが未完了部分を今年度に行うもので、安全面を考慮し暑い時期を避けた実施を考えているとの説明がありました。伐採は本年度で完了する見込みであること、本作業は応急的な対応で、今後、法面舗装などを検討するとのことでした。事業遂行に必要な予算であり、妥当と認めました。

なお、商工費の公有財産購入費５８８０万３千円については、堂山工業団地の買い戻しに係る土地購入費で、本件土地の買い戻しに当たっては、今回の予算措置が特定企業への便宜供与ではなく、市および市民の利益につながるものとなるよう、次のとおり附帯決議しました。

一、本件に至った経緯、買い戻しの必要性および条件等について、議会に説明すること。

二、買い戻し後の土地活用および企業誘致に向けた今後の取組方針について議会に示すとともに、その進捗状況について適宜議会に報告すること。

【議案】松浦市西部工業団地造成工事請負契約の締結について

令和８年７月21日、制限付き一般競争入札に付した松浦市西部工業団地造成工事について請負契約を締結するもので、西部工業団地は、西九州自動車道へのアクセスや、国の成長分野である造船関連企業、半導体関連企業が近くにあることが強みであり、企業誘致の専門職は配置していないが、誘致企業訪問に専念できる体制を整えて業務に当たっているとの説明があり、妥当と認めました。

所管施設調査

【文教厚生産業委員会】

７月７日に所管施設調査を行い、御厨こどもの家、松浦中央学校給食共同調理場、志佐こどもの家、市民運動公園、調川小・中学校、志佐小学校、上志佐小学校、柚木川内キャンプ場の各施設の現状調査や、今後の活用などについて担当課と意見交換を行いました。

御厨と志佐のこどもの家では概要と利用状況について説明があり、他の施設との使い分けや今後の課題について確認しました。

松浦中央学校給食共同調理場では概要と概況、毎日行われているミーティングについて説明があり、徹底された管理体制が確認できました。

市民運動公園では概要と利用状況の説明があり、平成22年以降は大きな改修がなされておらず、改修の必要性を感じました。

各学校では学校の概要と方針、特色について説明があり、教育内容についてはどこも素晴らしいものでした。環境面においては、どの学校も老朽化による施設の問題が目立ちました。

柚木川内キャンプ場では概要と利用状況の説明があり、施設の老朽化による危険性が確認されました。

今後、予算などの議案審査や政策提言に役立ててまいります。

造成中の西部工業団地（御厨町狩原免）

御厨こどもの家

志佐小学校

市民運動公園

上志佐小学校

議会運営委員会先進地調査

６月30日から７月２日までの３日間、岡山県真庭市と岐阜県可児市へ議会改革の取り組みについて、先進地調査を行いました。

真庭市議会では、「議会も出掛けよう」の考えのもと、市民との意見交換会「ざっくばらんに語ろう」や、地域へ出向いて常任委員会を開催するなど、市民との接点を積極的に設けられています。そこで得られた意見を政策提言につなげ、その後の反映状況まで確認する仕組みについて調査しました。

可児市議会では、高校生が地域課題について議員等と意見交換し、議場で成果を発表する「高校生議会」や、市民が議場で自由に意見を述べる「市民フリースピーチ」など、市民が議会に直接関わる多様な取り組みについて調査しました。

真庭市議会では議会が地域に出ていく、可児市議会では議会にさまざまな人を呼ぶ、というアプローチで開かれた議会を目指していました。本市議会でも両市の取り組みを参考にしながら、市民に広く開かれた議会を目指してまいります。

真庭市議会

可児市議会

その他各委員会の活動

【鷹島海底遺跡保存活用特別委員会】

６月23日に委員会を開催し、松浦市歴史観光推進協議会と鷹島海底遺跡の保存と活用について意見交換を実施しました。

令和13年に元寇（弘安の役）７５０年を迎えるにあたっての今後の取り組みについてや、国への要望活動についての意見がありました。

本特別委員会としては、今後も松浦市歴史観光推進協議会と連携をとりながら活動していくこと、また、国への要望活動については、県と一緒に官民一体となって行うことを確認しました。

松浦市歴史観光推進協議会との意見交換会

【西九州自動車道及び道路網整備特別委員会】

７月21日に佐々町において、伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会が開催され、議長および委員全員が出席しました。西九州自動車道の早期完成に向けた令和８年度の活動計画等を決定するとともに、「道路整備予算の確保等に関する決議」が全会一致で採択され、政府および関係機関へ決議文が送付されました。

また、８月17日に同協議会で行われた要望活動にも議長および委員が出席をし、佐賀県知事、佐賀県議会議長および佐賀国道事務所長並びに長崎県知事、長崎県議会議長および長崎河川国道事務所長に対し、西九州自動車道伊万里道路・伊万里松浦道路・松浦佐々道路の事業促進と早期完成、道路整備の安定的な予算確保を要望いたしました。それぞれの要望において、早期完成に向けて引き続き予算確保に取り組んでいきたいとの回答をいただきました。

長崎河川国道事務所での要望書の手交

長崎河川国道事務所への要望活動

委員会の構成

令和7年度の一般会計および各特別会計の決算を審査するため、9月17日に決算審査特別委員会を設置しました。

委員構成は次の通りです。

委員長　川下　高広
副委員長　岩本　裕美
委員　宮田　悟史
委員　紙本　宏幸
委員　吉岡　健次
委員　金井田秀規
委員　武辺　鈴枝

議会日誌

7月

6月30日～2日
◇議会運営委員会先進地調査（岡山県真庭市・岐阜県可児市）
7日◇文教厚生産業委員会所管施設調査
9日◇介護保険事業計画策定委員会議会理事会（長崎市）
10日◇長崎県市町村総合事務組合議会／長崎県市町村行政振興協進期成会総会（佐々町）
13日◇長崎県西九州自動車道建設促進協議会理事会（佐世保市）
◇伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会（佐世保市）
15日◇市議会だより編集委員会
17日◇全国離島振興市町村議会議長会総会／長崎県離島振興市町村議会議長会臨時総会（東京都）
21日◇伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会（佐々町）
24日◇議会運営委員会

8月

3日◇林業振興協議会（佐世保市）
6日◇都市計画審議会
◇椋呂路・板山トンネル建設促進期成会要望活動（佐賀市・長崎市）
7日◇長崎県原子力安全連絡会
17日◇伊万里・平戸・松浦・佐世保市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会要望活動（長崎市）
18日◇東彼杵道路建設促進期成会及び椋呂路・板山トンネル建設促進期成会合同要望活動（長崎市）
19日◇長崎県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会／定例会（長崎市）
20日◇長崎県市議会議長会臨時総会（長崎市）
◇議会運営委員会
21日◇長崎県市議会議長会議員研修会（長崎市）
25日◇松浦鉄道自治体連絡協議会総会（佐世保市）
28日◇議会運営委員会

9月

2日◇北松北部環境組合議会定例会（平戸市）
4日～17日
◇定例会
7日◇各派代表者会
9日◇市議会だより編集委員会
17日◇議会運営委員会
◇議員研修会

サイバーセキュリティに関する議員研修会
（9月17日）

議案等の審議結果

条　例	□松浦市印鑑条例の一部改正について	可決（全員）
	○松浦市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について	可決（全員）
	○松浦市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市子ども医療費助成に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決（全員）
	○松浦市景観条例の一部改正について	可決（全員）
	○松浦市市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正について	可決（全員）
予　算	◎令和８年度松浦市一般会計補正予算（第３号）	可決（全員）
	□令和８年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	可決（全員）
	□令和８年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算（第２号）	可決（全員）
	□令和８年度松浦市介護保険特別会計補正予算（第２号）	可決（全員）
	○令和８年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算（第２号）	可決（全員）
	○令和８年度松浦市臨海土地造成事業特別会計補正予算（第２号）	可決（全員）
	○令和８年度松浦市水道事業会計補正予算（第２号）	可決（全員）
	※令和８年度松浦市一般会計補正予算（第４号）	可決（全員）
その他	○市道大崎街道線改良工事請負契約の締結について	可決（全員）
	○市道大崎街道線・古木ノ辻線改良工事請負契約の締結について	可決（全員）
	□松浦市西部工業団地造成工事請負契約の締結について	可決（全員）
	○松浦市本庁舎大規模改修工事（設備工事１期）請負契約の締結について	可決（全員）
	○松浦市本庁舎大規模改修工事（建築主体工事）請負契約の締結について	可決（全員）
認　定	○令和７年度松浦市水道事業の決算認定について	認定（全員）
	○令和７年度松浦市工業用水道事業の決算認定について	認定（全員）
	○令和７年度松浦市下水道事業の決算認定について	認定（全員）
	▼令和７年度松浦市一般会計の決算認定について	継続審査
	▼令和７年度松浦市青島診療所事業特別会計の決算認定について	継続審査

議案等の審議結果（つづき）

認定	▼令和７年度松浦市鉱害復旧灌漑用水施設維持管理事業特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和７年度松浦市国民健康保険特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和７年度松浦市後期高齢者医療特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和７年度松浦市介護保険特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和７年度松浦市福島診療所事業特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和７年度松浦市鷹島診療所事業特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和７年度松浦市松浦魚市場特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和７年度松浦市臨海土地造成事業特別会計の決算認定について	継続審査
	▼令和７年度松浦市工業団地造成事業特別会計の決算認定について	継続審査
諮問	※人権擁護委員候補者の推薦について	了承（全員）
	※人権擁護委員候補者の推薦について	了承（全員）
請願	○松浦高校に「インターナショナルコース（仮称）」の設置についての請願について	継続審査
	□福島学校給食共同調理場の空調設備設置及び松浦市立学校給食共同調理場施設統合基本方針に関する請願について	採択（多数）
議員提出議案	※市長の専決処分にする軽易な事項の指定についての一部改正について	可決（全員）

（注）文頭の記号は審査の付託先を表しています。
◎・・・各常任委員会へ分割付託　※・・・委員会付託を省略し全員審査
○・・・総務建設農水委員会　□・・・文教厚生産業委員会
▼・・・決算審査特別委員会

編集委員のつぶやき

朝夕の風に涼しさを感じ、長かった夏が終わり、秋の深まりを感じられる季節となりました。

秋といえば、お祭りやおくんちなどがあり市内各地でにぎわいをみせました。スポーツでは、中学校駅伝大会や小学校陸上競技大会が開催され、子どもたちの元気な姿がまちをさらに明るくしてくれました。

一方で昨今、全国的に災害が多発しており、大雨や台風、地震などの被害が相次いでいます。松浦市においても決して他人事ではありません。「災害はいつ起こるか分からない」という意識を常に持ち、いま一度災害への備えを確認しましょう。

「市議会だより」の編集にあたっては市民の皆様に分かりやすくお伝えできるよう心掛けています。皆様に「市議会だより」に目を通していただき、松浦市のことを考えるきっかけとしていただければ幸いです。㊊

市議会だより編集委員会
委員長　志水　周
副委員長　小川　晃弘
委員　福本　宗典
委員　村尾　一樹
委員　紙本　宏幸